

過年度の取り組みについて

森岡地区拠点施設基本構想・基本計画



公共施設に関する現状と課題

POINT

01

公共施設の質と量

⇒量は一貫して増加 + 老朽化（質の低下）

POINT

02

人口（使う人）

⇒人口（生産年齢人口）減少 + 少子高齢化

POINT

03

財源

⇒普通建設事業費（公共施設経費）の減少
維持・更新等に多額の費用が必要

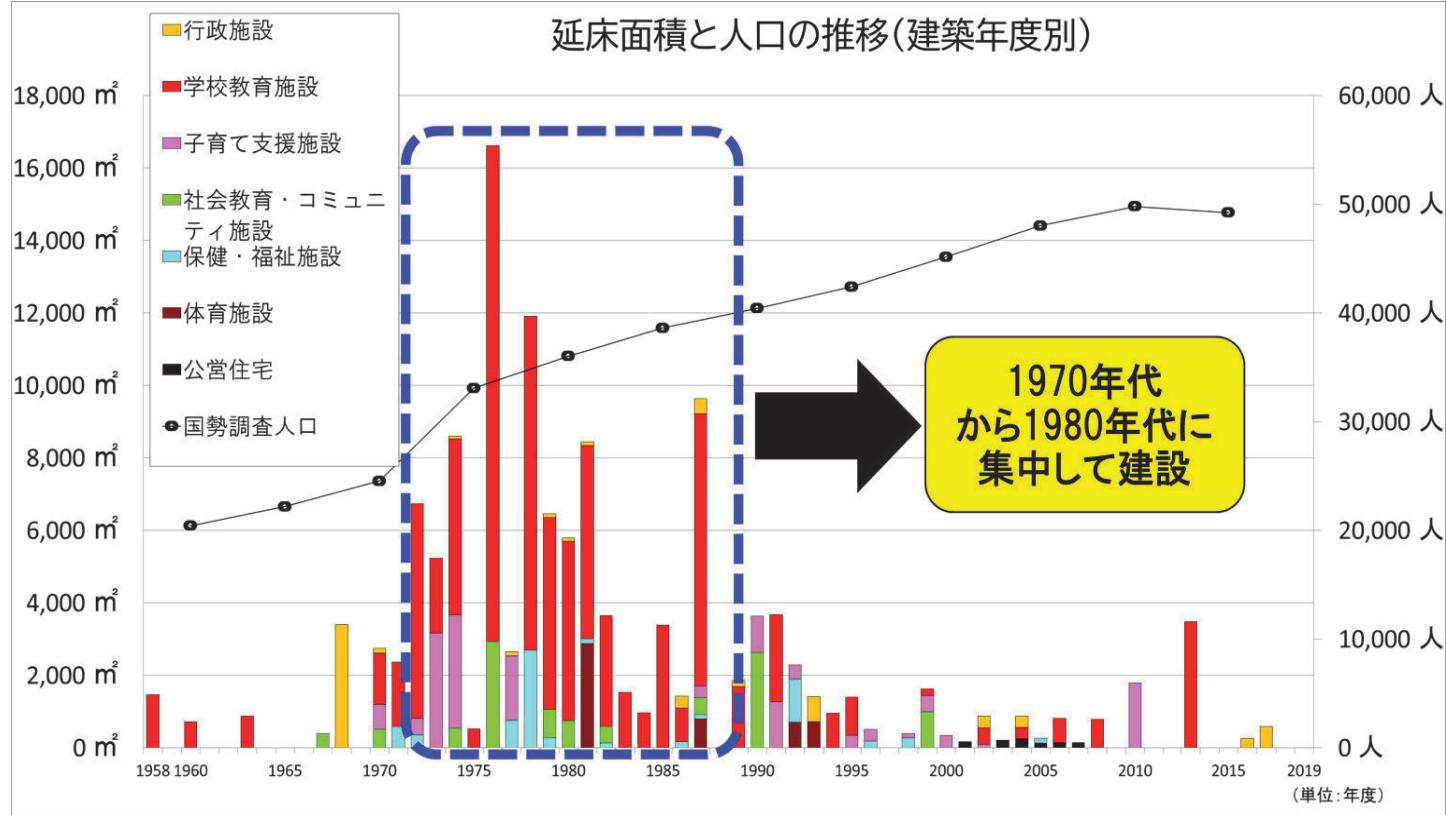


公共施設に関する現状と課題

POINT

公共施設の質と量

01 ⇒量は一貫して増加+老朽化（質の低下）

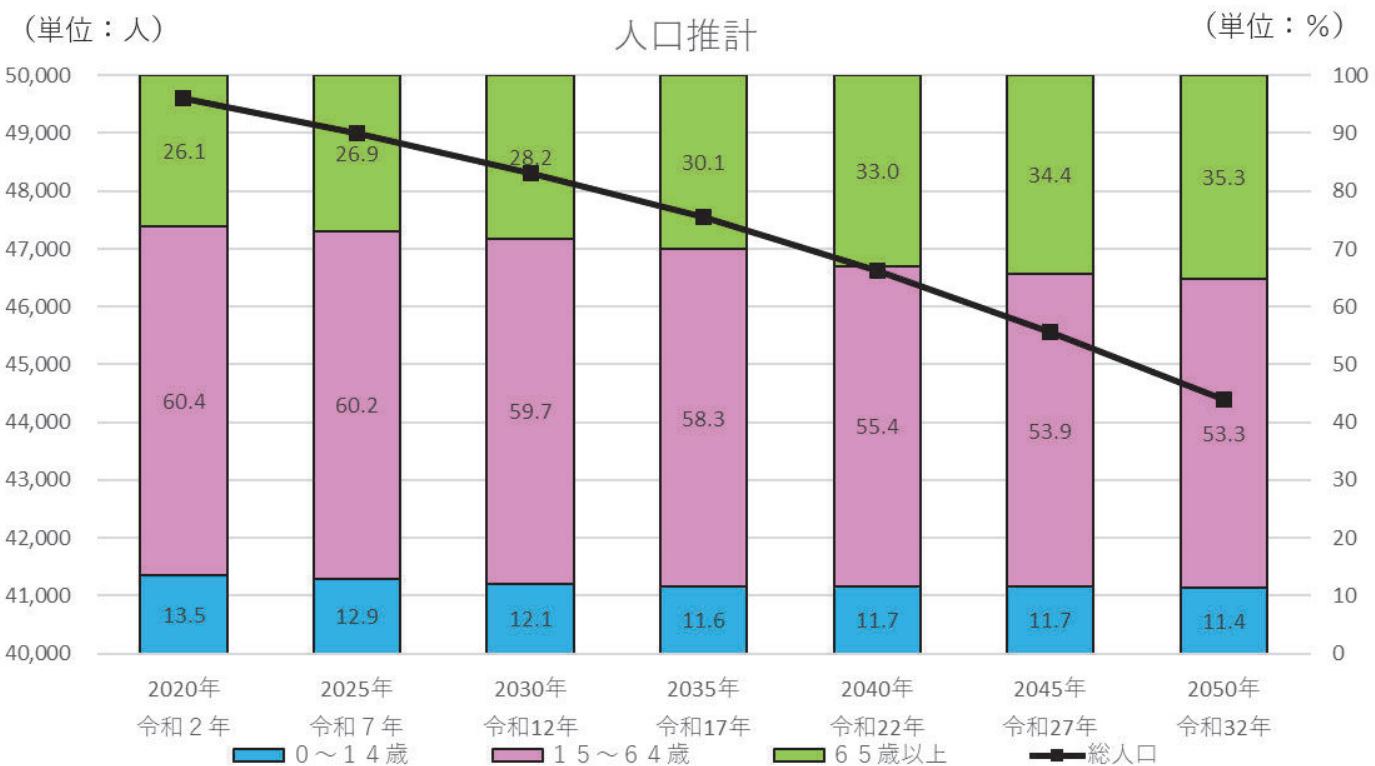


公共施設に関する現状と課題

POINT

人口 (使う人)

02 ⇒人口 (生産年齢人口) 減少+少子高齢化



:国立社会保障・人口問題研究所
男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口』(令和5(2023)年12月推計)

公共施設に関する現状と課題

2

3



公共施設に関する現状と課題

POINT

03

財源

⇒普通建設事業費（公共施設経費）の減少

維持・更新等に多額の費用が必要

東浦町公共施設
等総合管理計画
はコチラから



2015年度～2074年度の60年間で

約681億2,000万円が必要。

年間にすると約11億3,000万円が必要

町で公共施設(建物)の更新・修繕にかけた
経費(過去10年)の年平均は**約3億8,000万円**！

つまり、「今」ある施設を「同じ姿のまま」

更新・修繕しようとする…

毎年、**約7億5,000万円**が**不足**します。



これまでの公共施設再編に関する取り組み①

- | | |
|----------|---|
| 平成26年3月 | 東浦町公共施設更新計画(I)策定 |
| 平成28年3月 | 東浦町公共施設等総合管理計画策定 |
| 令和2年3月 | 東浦町公共施設個別施設計画策定 |
| 令和2年4月 | 企画政策課に施設マネジメント係を設置 |
| 令和2年10月～ | 広報連載シリーズ開始 |
| 令和3年3月 | 東浦町公共施設等総合管理計画改定 |
| 令和3年度～ | 職員による公共施設プロジェクトチームにて検討 |
| 令和4年8月～ | 東浦町公共施設再配置計画策定作業開始、地区ヒアリング実施、
全員協議会報告（1回目） |
| 令和4年9月 | 公共施設のあり方に関する住民アンケート |
| 令和4年11月 | 公共施設マネジメント講演会開催、
第1回ひがしうら公共施設未来会議開催 |
| 令和4年12月 | 第1回東浦町公共施設再配置計画策定作業部会開催、
施設管理者ヒアリング実施（1回目） |



これまでの公共施設再編に関する取り組み②

- 令和5年1月 第1回東浦町公共施設再配置計画検討委員会開催
- 令和5年1月 施設管理者ヒアリング実施(2回目)
- 令和5年2月 行政経営会議報告（1回目）
- 令和5年3月 全員協議会報告（2回目）
- 令和5年4月 第2回東浦町公共施設再配置計画策定作業部会開催
- 令和5年5月 第2回東浦町公共施設再配置計画検討委員会開催
- 令和5年6月 行政経営会議報告（2回目）、
第2回ひがしうら公共施設未来会議開催
- 令和5年7月 第3回東浦町公共施設再配置計画策定作業部会開催、総合教育会議
- 令和5年8月 全員協議会報告（3回目）、
第3回東浦町公共施設再配置計画検討委員会開催
- 令和5年9月 行政経営会議報告（3回目）、全員協議会報告（4回目）、
全庁意見照会、教育委員会説明
- 令和5年10月 第4回東浦町公共施設再配置計画策定作業部会開催、
行政経営会議報告（4回目）

これまでの公共施設再編に関する取り組み

6



これまでの公共施設再編に関する取り組み③

- 令和5年11月 第4回東浦町公共施設再配置計画検討委員会開催、
全員協議会報告（5回目）
- 令和5年12月 行政経営会議報告（5回目）、学校経営会議報告
- 令和6年1月 パブリック・コメント、住民懇談会開催
- 令和6年2月 パブリック・コメント結果公表
- 令和6年3月 森岡地区説明会、**東浦町公共施設再配置計画策定**
- 令和6年7月 森岡地区拠点施設基本構想・基本計画策定業務開始
- 令和6年10月 勉強会「事例に学ぼう！地域の拠点づくり勉強会」開催
- 令和6年11月 第1回整備計画検討会開催、施設管理者ヒアリング実施

これまでの公共施設再編に関する取り組み

7



(1) 公共施設再編の基本方針

拠点形成による町民サービスの向上

水害等の災害への対応能力の向上

将来人口を見据えた公共施設規模の実現



将来人口・将来需要を踏まえた「複合化・集約化」

空間・スペースの「共有化・多目的化」



既存施設の総延床面積よりも

『30%以上』の面積削減



効果①

機能の異なる施設間の相乗効果の創出、
コミュニティ拠点の形成

効果②

合理性・効率性の最大化
(諸室の相互利用や維持管理・運営の一体化)

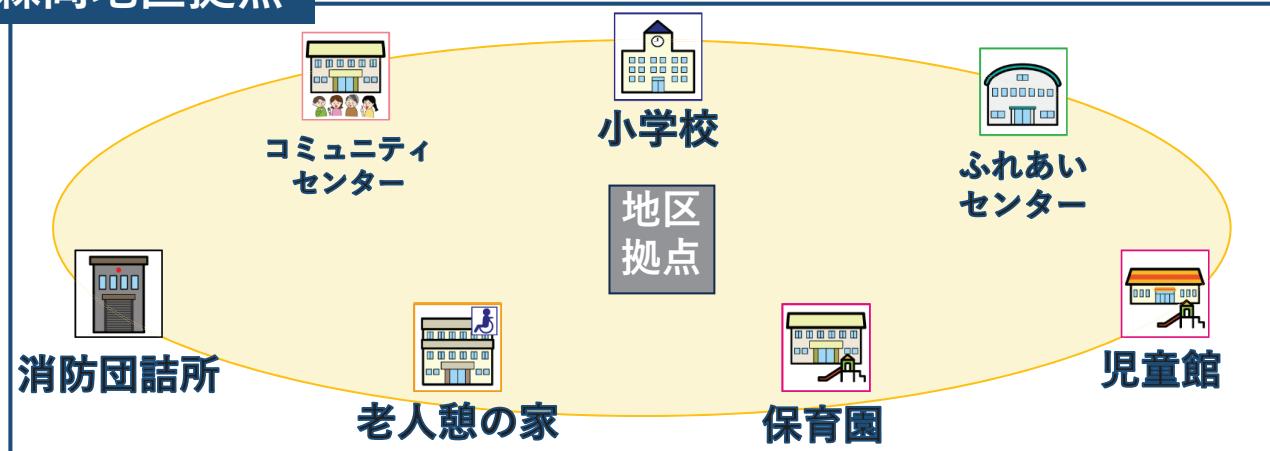
効果③

コスト縮減
(イニシャルコスト・ランニングコストの縮減)



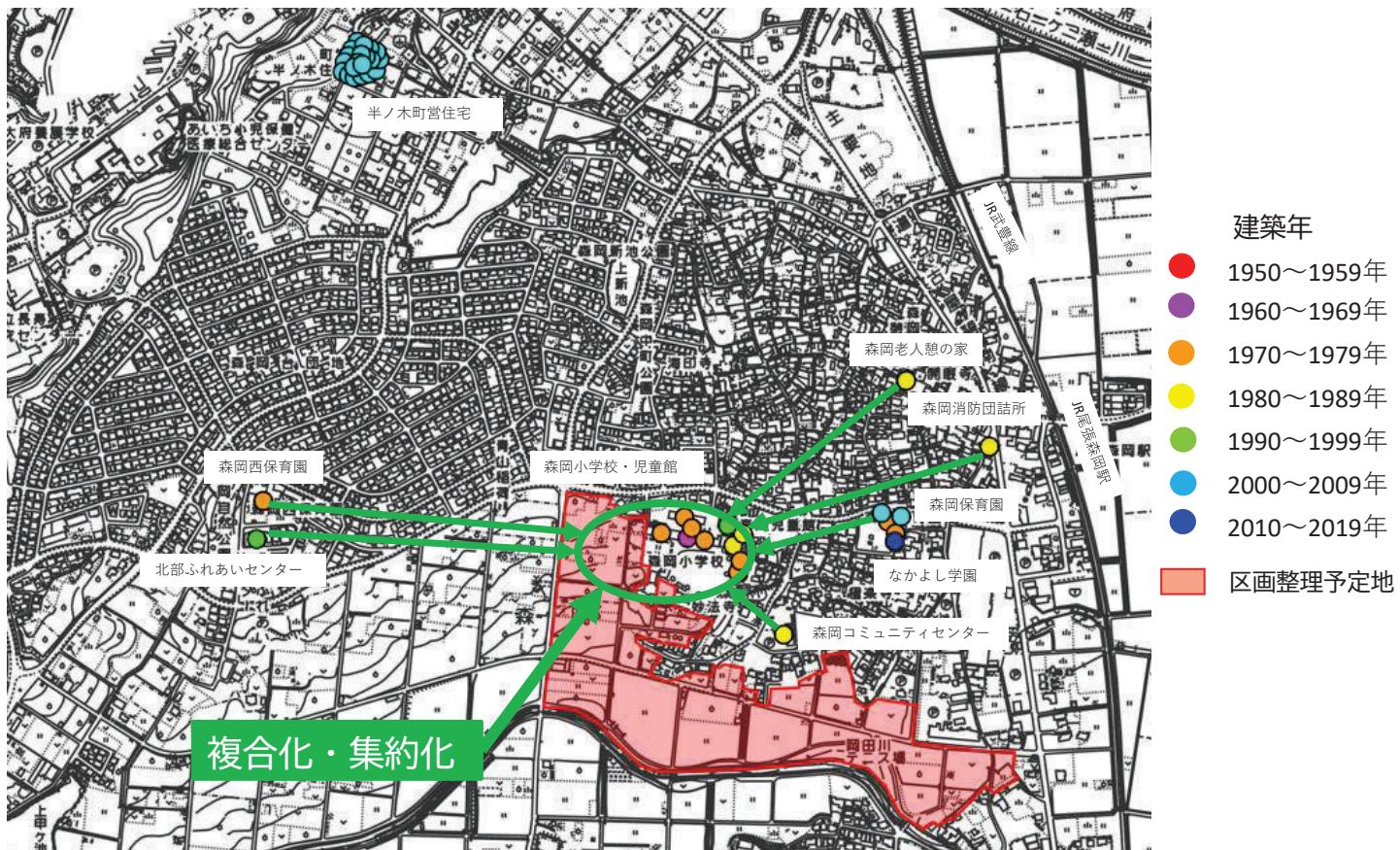
各地区の小学校を中心とし、学校教育、子育て、学習・交流、福祉機能に加え、運動機能、消防・防災機能をできる限りまとめて拠点化

森岡地区拠点





森岡地区の公共施設



東浦町公共施設再配置計画